

FHD車外車内同時録画 高画質ドライブレコーダー 取扱説明書 car-063x



輸入元：ベスト・アンサー株式会社
650-0045 神戸市中央区港島6-8-2SRC8F
より良いものを、よりやすく、よりスピーディーに
TEL： 078-381-9689(平日 10:00~17:00)
FAX： 078-330-3689
メール：info@bestanswer.jp



目次

安全上の注意	P 3
はじめに（※重要）	P 3
各部品の名称	P 4
セット内容の確認	P 6
配線の取り付け前に設定を行いましょう	P 7
※上書き保存	P 9
※Gセンサー、駐車監視、GPS	P 10、11
※Wi-Fi,時間設定	P 13、14
※スクリーンセーバー、車内カメラ（IRLED）	P 15
※システム Format（フォーマット）	P 16
SDカードのセットについて	P 17
取り付け準備・取り付け方	P 19
録画・撮影	P 21
録画・撮影した映像の確認	P 23
GPSの再生	P 24
よくある質問	P 26
保証書	P 30

このたびは、当社製品をご購入いただきまして、誠にありがとうございます。
ご使用になる前に必ずこの取扱説明書をよくお読みになってから、正しくお使いください。本書は大切に保管してください。

ご使用時の注意事項

- 本製品は精密機器です。強い衝撃を加えたり、落下させたりしないでください。過度の衝撃や振動の加わる場所、高温・多湿の場所、直射日光が長時間当たる場所での使用や保管は避けてください。
- 防水、防塵仕様ではないので、温度、湿度の特に高い場所（自動車のダッシュボードや、暖房器具の近くなど）や直射日光が長時間あたる場所、静電気の発生しやすい場所、ホコリの多い場所には置かないでください。
- 内蔵充電電池の液漏れ、破裂、感電、故障、火災の原因となります。

安全上の注意：

- 運転中に操作（視聴）をしないで下さい。
- 発煙、異音、異臭などが発生した場合は直ちに使用を中止してください。事故や火災の原因となります。
- エアバックや運転などの安全上の妨げにならないように使用して下さい。
- ご使用前に付属の取り扱い説明書を熟読し、機器の知識・安全上の注意事項について習熟してから正しくご使用ください。
- 本製品の付属品はすべて専用部品ですので代用品の使用や改造等すると事故につながりますのでご注意ください。破損した場合、保証対象外となります。
- 本製品は電磁波を発生する場合があります。
- 本製品は高温の状態では長時間使用すると低温やけどを起こす可能性がありますのでご注意ください。
※長時間使用後はしばらく時間を置いてからご利用ください。
- 本製品は常時記録型の映像を記録する装置ですが全ての状況において映像を記録することを保証したものではありません。
- 本製品を取り付けたことにより車両・車載品の故障・事故等などの損害について弊社は一切その責任を負いません。
- 商品の仕様・外観は改良のため予告なく変更する場合があります。
- 写真は、イメージであり実際と異なる場合がございますので予めご了承下さい。

1、はじめに（※重要※）

初期充電は十分な充電を行ってからご使用ください。

商品到着後は初期充電をお願い致します。

充電方法：

車のエンジン始動後に付属品の充電コードをドライブレコーダーのUSB接続口とシガーソケットにしっかりと差し込んでから充電を行ってください。

接続ができている場合：パネル右下にある雷マーク付きのバッテリーマークが点滅していれば、DC アダプターがきちんと接続できています。

※シガーソケットに接続後ドライブレコーダーは自動的に電源が ON になり数秒後に録画画面が表示されますので手動で電源ボタンを長押ししていただき本体の電源を切った状態にて 30 分程の初期充電をお願い致します。

※充電をせずに直接使用する場合、画面が暗くなったり、点滅、画像エラー、設定がリセットされたりすることがありますので必ず充電を行ってください。

※初期充電の際は先にシガーソケットを接続してからエンジンをかけるとスタート時の過電圧で破損する可能性がありますのでご注意ください。

2、各部品の名称



①、電源ボタン

長押しで手動で電源を落としたり、つけたりすることができます。
短く押しと手動でスクリーンセーバーの ON/OFF できます。

②M ボタン

1) メニューボタン、モードボタン (録画していない状態の場合)

M ボタンをクリックすると各機能の設定を行うことができます。

M ボタンを長押しすると動画、静止画、再生するモードへ切り替えすることができます。

2) 手動ロックをかけることができます。録画中、M ボタンを押すと、その録画ファイルがロックかかり、上書きされません。

③アップボタン

- 1) メニュー画面または再生モードで上の項目に移動します。
- 2) カメラ切替機能 短く押すと、画面表示をフロントカメラと車内カメラの順に切り替えます。
- 3) ズームイン機能
静止画撮影モードにおいて、アップボタンを長押しするとズームインします。
- 4) 早戻し機能
再生モードにおいてアップボタンを押すと、早戻しできます。

④OK ボタン

- 1) 動画撮影機能の開始または停止
録画モードにおいて、OK ボタンを押すと録画を停止します。
もう一度押すと録画を開始します。
- 2) 静止画撮影機能
静止画撮影モードにおいて OK ボタンを押すと静止画を撮影することができます。
- 3) 録画再生機能
再生モードにおいて、OK ボタンを押すと録画ファイルを再生することができます。
- 4) 項目の確定機能
動画や静止画のスタンバイモードにおいて、メニュー／モードボタンを押すと、メニュー画面が表示されます。アップボタン・ダウンボタンで項目を移動し、OK ボタンで選択してください。

⑤ダウンボタン

- 1) メニュー画面又は再生モードで下の項目に移動します。
- 2) 録音の停止機能
録画モードにおいて、ダウンボタンを押すと録音機能をオフにできます。
そのとき、画面下のマイクアイコンに×マークがつき、録音機能が停止されていることが確認できます。
もう一度短く押すと録音を開始し、マイクアイコンから×マークが消えます。
- 3) ズームアウト機能
静止画撮影モードにおいて、ダウンボタンを長押しするとズームアウトします。
- 4) 早送り機能
再生モードにおいてダウンボタンを押すと、早送りできます

⑥赤外線

IRLED をオンに設定した場合、車内の明るさによって IRLED の自動的に切り替えをします。暗視機能が起動した場合、車内の録画が白黒になります。

⑦電源 USB 挿入口

DC アダプターの USB 電源の挿入口です。シガーから電源を接続すると車の電源の ON/OFF に連動します。

⑧GPS コードの挿入口

GPS 受信器を接続すると自動的に時間を調整していただくことが可能です。走行軌跡やスピードを確認することができます。(部品は別売りです)

※GPS 受信器のコードが短いので、吸盤の角度をある程度調整してコードを差し込んでください。

⑨マイクロ SD カード挿入口

マイクロ SD カードの挿入口です。クラス10の8GB～32GBまで対応しております。ドライブレコーダーの電源がついている場合、マイクロ SD カードの挿入と抜き取りでドライブレコーダーの電源が自動的に OFF になります。

⑩リセットボタン

ドライブレコーダーが反応しなかったり、エラーが出た場合、1回リセットすると機能が回復されます。

3、セット内容の確認

お取り付け前にセット内容が不足していないかご確認ください。

- 1、ドライブレコーダー本体 2、DC アダプター 3、両面テープスタンド
(充電コード)



- 4、日本語取扱説明書



- 5、GPS 受信器 (別売り)

※購入されていない場合、付属されません。



※写真は、イメージであり実際と異なる場合がございますので予めご了承下さい。

配線の取り付け前に設定を行いましょう

M ボタンを押し、設定を行ってください。

※設定を行う項目が青色になり、OK ボタンを押すとその項目が選択され、アップボタンとダウンボタンで移動します。OK ボタンで決定します。

設定を行う場合、早く連続でボタンを押さないようにしてください。1 回ずつ反応してから次の操作を行ってください。

※早く連続で押すと、機械が固まってしまうことがあります。

A、ドライブレコーダー初心者の方でも簡単です。

配線接続して日付を設定するだけでも使用することができます。

①シガーソケット用充電コードを車のシガーソケットに差し込みドライブレコーダー本体の電源USB挿入口に挿入してください。

②日付設定を行います。⇒P14 を参照

※GPS 受信器をご購入された方は日付設定は不要です。GPS を受信後、自動的に時間が更新されます。

③ドライブレコーダーの電源を落とし、30分ほどドライブレコーダーへ初期充電を行います。⇒P3 を参照

④、ドライブレコーダーの電源を落とし、マイクロSDカードを挿入します。
マイクロSDカードの金属面を液晶画面に合わせ、真っ直ぐ挿入してください。

⑤、本体と配線の取付を行います。P19 を参照

これで完了です。

車のエンジンをかけ、ドライブレコーダーの電源が連動して、録画が自動的に始まり、エンジンを切り、車の電源を落とすと、ドライブレコーダーの電源も自動的に落ちます。車内と車外が同時録画され、3分間ずつデータが保存され、古いデータから上書きされていきます。

そのほか使用に当たって必要な説明は下記内容をご確認くださいませ。

G センサー 運転中に車が衝撃を感じた場合、P10 を参照

駐車監視モード 駐車中に車が衝撃を感じた場合、P10 を参照

スクリーンセーバー 運転中に液晶画面だけ消した場合、P15 を参照

IRLED 車内レンズの録画を設定したい場合、P15 を参照

フォーマット（※重要※）マイクロSDカードのデータを消す場合、P16 を参照

B、各機能の詳細設定

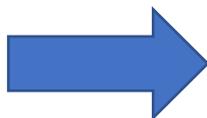
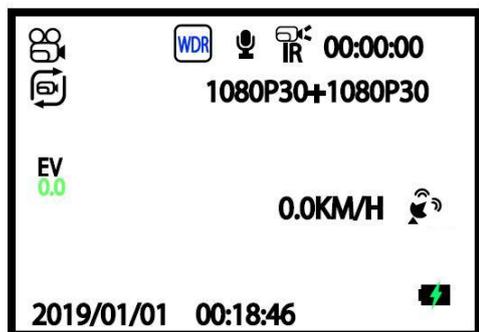
●録画設定

1、車のエンジンを ON にするとドライブレコーダーの電源が自動的に入り数秒後に液晶画面が2画面表示されます。

※先にSDカードを挿入しないでください。



2、M ボタン（メニューボタン、モードボタン）を軽く押すと録画設定メニューが3ページ分けて開きます。



※マイクロSDカードを挿入し、録画している場合、M ボタンが効かないので、OK ボタンを押し、録画を停止してから M ボタンを押してください。

アップボタン or ダウンボタンで移動し、OK ボタンで決定を行ってください。

※解像度

撮影動画の解像度は下記通り設定することができます。

1440P30、1080P30、1080P30+1080P30、1080P30+720P30

1440P30、1080P30 に設定すると前のレンズだけの録画となります。

1080P30+1080P30、1080P30+720P30 はフロントのレンズと車内のレンズの解像度を設定することができます。

初期設定は 1080P30+1080P30 となります。※初期設定があるので、改めて設定する必要はありませんが、好みによって設定することができます。

※上書き保存

録画ファイルのサイクル時間を設定します。オフ/3分/5分/10分から選択

選択したサイクルの録画時間は録画中にビデオマークに数字が表示されます。

3分を選んだ場合、録画ファイルは3分毎に保存されます。

※初期設定は3分に設定してあるので、改めて設定する必要はありませんが、好みによって設定することができます。

※オフに設定すると上書きされなくなりますので、15分ほどファイルが保存され、マイクロSDカードがいっぱいになると録画しなくなります。特別な使用用途がない限り、オフに設定することはお勧めいたしません。

※WDR

オン/オフ

録画の画像全体の露出を改善できます。

初期設定はオンとなります。

※露出

初期設定は0となります。設定する必要はありませんが、必要な状況に応じて明るさを調整することができます。

※動体検知

オン/オフ

基本はOFFに設定します。(初期設定はオフです。)

※動体検知機能は画面に変化があると自動的に撮影を開始する機能です。

動きがなくなりしばらくすると録画を停止して動体検知に戻ります。

※ドライブコレーターの本体の電源が入った状態でしか作動しません。

※ONに設定すると信号まちや渋滞の時に録画が停止してしまうことがあります。

※録音

オン/オフ

オンにすると録画中、音声の録音も同時にされます。

オフにすると録画中、音声の録音はされません。

初期設定はオンです。

※日付表示

オン/オフ

録画データには日付を表示させるかどうかの設定です。オンにすると、録画データに日付時間などが表示されます。

初期設定はオンです。

※G センサー

オフ/低/中/高

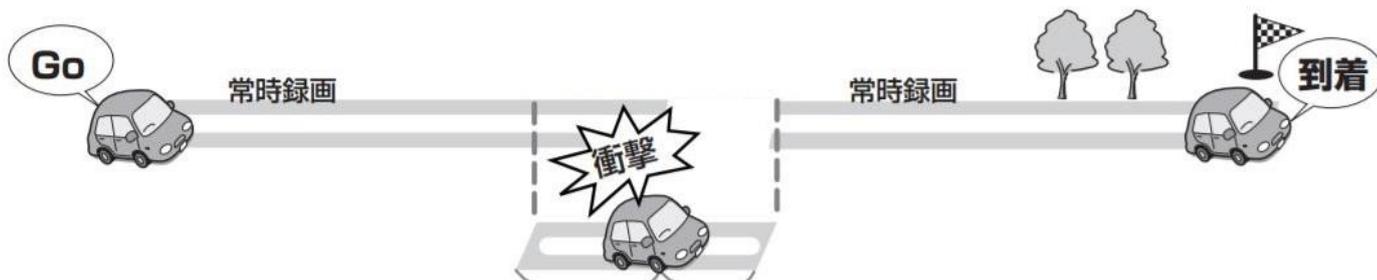
撮影中に車が衝撃を感知した場合、画面の上部に鍵マークアイコンが表示され、その録画ファイルを自動でロックをかけ上書きされないようにします。

オフ：衝撃を感知しません。

低：普通より衝撃を感知しにくい

中：標準設定

高：普通より衝撃を感知しやすい



衝撃感知後その映像を録画し保護します。

※衝撃感知で録画された映像は自動で保護され SD カードのストレージが一杯になっても上書きされません。

※ロックがかかったファイルが溜まるとSDカードストレージがいっぱいになる原因となります。

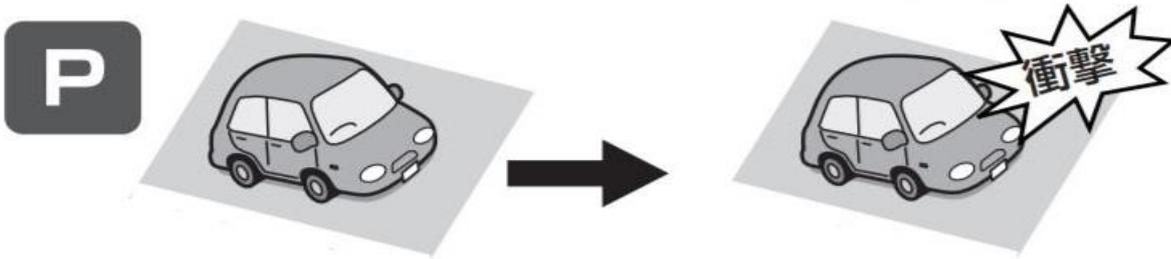
※SD カード容量不足というメッセージが出た場合はフォーマットを行ってください。(フォーマット設定を参考してください。)

※SDカードがいっぱいになってからフォーマットを行うのは手遅れです。車、道状況、カードの容量と運転方法によってロックかかる頻度、保つ期間が異なります。初めは数回分けて自分の設定がどれくらいロックのファイルが溜まるのかを確認し、感度の調整と定期フォーマットの期間を設けて行ってください。

※駐車監視

オフ/低/中/高

駐車中に車が衝撃を感知すると、画面の上部に鍵マークアイコンが表示され、その録画ファイルを自動でロックをかけ上書きされないようにします。



オフ：衝撃を感知しません。

低：普通より衝撃を感知しにくい

中：標準設定

高：普通より衝撃を感知しやすい

※エンジンを切った後、車が衝撃を受けると、本機の電源がオンになり録画が開始されます。録画が終了すると本機の電源がオフになり、待機状態に戻ります。

●監視カメラモードの録画時間は、衝撃検知から約30秒です。録画されたファイルにはロックがかかるため、上書きされません。ロックがかかったファイルが溜まるとSDカードの容量不足の原因になりますので、定期的にSDカードをフォーマットすることをお勧めします。

●監視カメラモードは衝撃を検知してから数秒後に録画が始まります。

乗車や降車時のドアを閉めたときの振動を検知して、録画モードが作動することがあります。感度以上の振動があっても、自動録画がされないことがあります。

※ドライブレコーダーの本体の内蔵バッテリーが200mAhしかありませんので、満充電の場合でも数回しか作動できません。(バッテリーの充電状態によります。)

※内蔵バッテリーが充電されている状態しか作動しません。

※GPS

オフ、KM/H、MPH

GPSの速度の表示方法設定（GPS受信器（別売り）を接続されている場合のみ使用可能です。）

GPSを確認するには下記アドレスよりGXPLAYERプレイヤーをダウンロードしていただきますようお願い申し上げます。

<http://www.sunningsoft.com/en/pcgps.html>

※対応するのはWINDOWS7、WINDOWS8、WINDOWS10は対応
WINDOWSxpは対応していません。

※システムサポートnet4.5以上が必要です。

※アクセス許可の問題でインストールはできるだけCドライブ以外にしてください。

オフに設定した場合、GPSは作動しません。

KM/H 時速をキロメートルで計算されます。

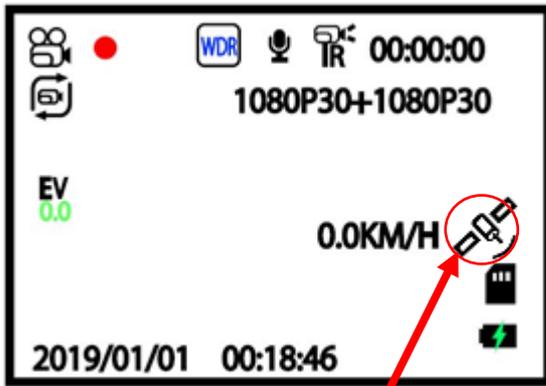
MPH 時速をマイルで計算されます。

初期設定はKM/Hで設定されます。

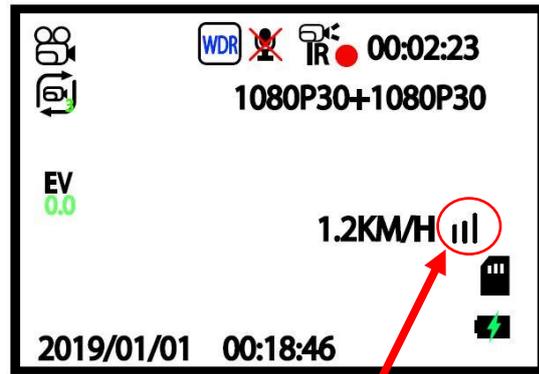
※地下駐車場、高架下、ビル谷間、森の中、高圧電線、高出力無線機器の近くやト

トンネル内などの場所は測位しにくくなる場合があります。

※GPS 測位が確定するまで時間かかる場合があります。(15分程度)これは製品の不良や故障などではありません。予めご了承くださいませ。20分以上かかる場合、電源を入れ直してください。



受信できていない



受信できている

※日時、車両の走行速度、位置情報は、GPSの測位から算出するため、実際の数値と異なる場合があります。

※周りに障害物があるとGPSの受信に悪影響を及ぼす恐れがあります。

※フロントガラスにメタルコーティングされた車両は、GPS受信障害が発生することがあります。

※取付になる車両のウィンドウが熱反射ガラスの場合、電波の透過率が低いためGPSが受信しにくい場合やできない場合があります。熱反射ガラスの使用については車両のディーラーやメーカーへお問合せください。

※バックカメラモニター鏡像

車内カメラの鏡像と正像の切り替え設定です。

初期設定はオフになっています。

●システム設定：

録画面面からの場合、M ボタンを2回クリックするとシステム設定になります。システム設定メニューが3ページ分かれて開きます。



※Wi-Fi

スマートフォンからドライブレコーダーの録画内容を確認や設定することができます。この機能を使用するにはマイクロ SD カードを挿入した状態で設定を行う必要があります。マイクロ SD カードを挿入した状態で録画を OK ボタンで停止してから設定を行ってください

1) QR コードを読み込み、アプリをインストールしてください。

あるいは Roadcam を検索していただき、下記アプリをダウンロードしてください。



RoadCam



RoadCam

工具

- 2) ドライブレコーダーの Wi-Fi 設定をオンに設定します。
液晶にドライブレコーダーの ID とパスワードが表示されます。
ID : P635D_XXX XXX XXX
パスワード : 123456578

※ロットによって ID とパスワードが異なることがあります。

- 3) スマートフォンの設定から Wi-Fi 接続を ON にしている状態で、ドライブレコーダーに表示される ID が表示されましたら、タッチしていただき、パスワードを入力して接続してください。

- 4) Wi-Fi を接続完了してから、アプリに接続すると、ドライブレコーダーの録画確認や保存、編集や共有の作業ができます。

※使用するたび、接続する必要があります。自動接続できません。

※タイムゾーン

日本の場合、GMT+9となります。

※日/時刻

アップボタンとダウンボタンで数字を変更させ、OK ボタンで決定して次の項目へ移ります。設定が完了しましたら M ボタンを押すと録画面面に戻ります。



※GPS 受信器（別売）をご利用される場合、日付を設定する必要がありません。

※オートシャットダウン

オフ/1分/3分/5分/

録画されていない状態で自動的に電源が切れるまでの時間を設定します。

※操作音

ボタンの操作音のONとOFF設定です。

※言語

初期設定は日本語となります。

※周波数

50Hz/60Hz を選択できます。

※参考：日本の周波数は、およそ、富士川（静岡県）と糸魚川（新潟県）を境に東側は50回（50Hz＝ヘルツ）、西側が60回（60Hz＝ヘルツ）となっています。ただし、境界付近には「50Hz」と「60Hz」の混在地区もございますのでご注意ください。

※スクリーンセーバー

オフ/1分/3分/5分

録画中に液晶画面を表示させるかどうかを設定することができます。

設定した時間が経過すると液晶画面が消えますが録画はそのままされます。

オフに設定すると液晶画面が常時表示されます。

※ドライブレコーダーの本体のしたにある電源ボタンを短く押すことにより手動で液晶画面表示のオンオフも可能です。

※IRLED

オン/オフ

オンに設定した場合、

車内カメラレンズの赤外線暗視機能がついているので、車内の明るさが低下すると赤外線が起動し、録画が白黒になり、低照度でも録画できます、緑色や一部の色がピンク色に変色することがあります。

オフに設定した場合、

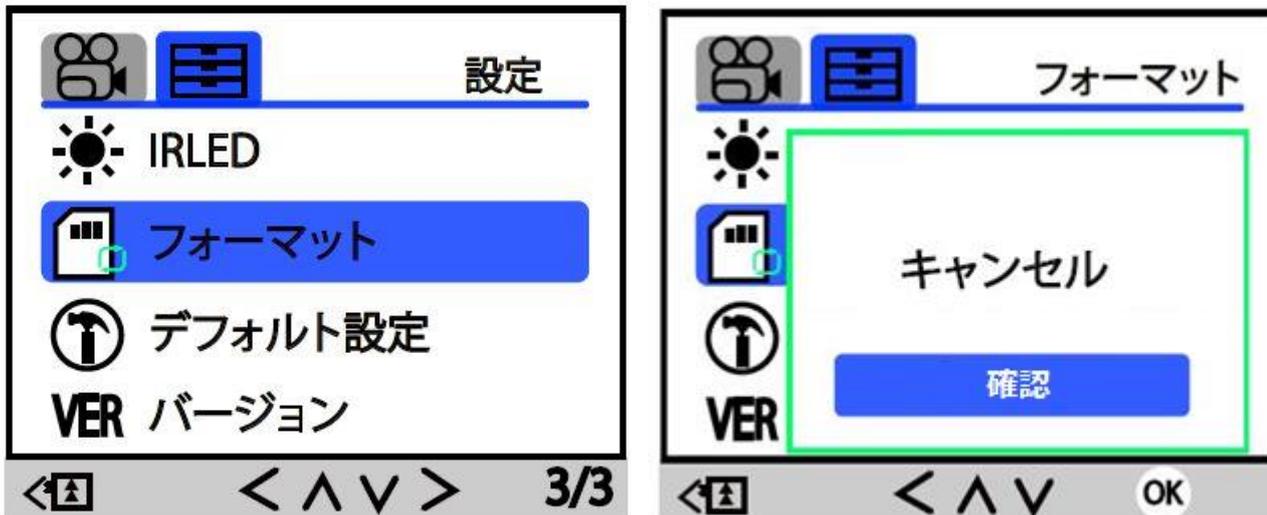
赤外線暗視機能が起動しないので、車内カメラレンズがカラーのままに録画しますが、暗い場所になると映せない可能性があります。

初期設定はオンになっていますが、実際に取り付ける車や走行する道の街灯などの状況に合わせ、最適な設定を行ってください。

※カメラは暗視機能がついているので、通常オフの設定で夜でも映ります。オンに設定した場合、自動切り替える時、ガチガチという音がするので、少しうるさく感じます。オフに設定して試すことをお勧めします。

※フォーマット

SDカードをフォーマットします。SDカードのデータを削除することができます。
手順：フォーマットまで移動し、OK ボタンで確定、アップボタンとダウンボタンで移動し、確認 OK が青くなっているかを確認、青くなっている場合、OK ボタンでフォーマットを実行します。お待ちくださいと表示され、消えたらフォーマットは完了です。



SDカードはデータの記録が繰り返されると録画可能時間が減少したりデータの読み込みや書き込みに時間がかかったりします。安定してお使いいただくために1～2週間に一度SDカードのフォーマットを行ってください。

SDカードの容量不足やエラーメッセージが出た場合はフォーマットすることによって解決されます。

フォーマットするとSDカードにあるデータがすべて消えますので大切なデータがある場合はパソコンなどへ移してから行ってください。

※マイクロSDカードを使用する前、必ずフォーマットするようにしてください。

フォーマットしないと正常に録画できない場合があります。

※フォーマットしてもマイクロSDカードのデータが消えない場合、マイクロSDカードを交換してください。

※使用頻度によりますが、1～2週間は必ずフォーマットを行うようにしてください。

※デフォルト設定

ドライブレコーダーの設定を出荷時の状態に戻します。

※バージョン

設定などを完了してからSDカードをセットしましょう

※本製品はマイクロSDカード（別売）が必要です。

※本体上部のマイクロSDカード挿入口にSDカードの向きに注意し爪先でカチッと音がするまで確実に奥まで差し込んでください。

※マイクロSDカードの金属面を液晶画面に合わせ、ドライブレコーダー本体の左側にあるマイクロSDカード挿入口に差し込んでください。

使用可能な SD カード	
SD スピードクラス	SD カード容量
CLASS 10	8G ~ 32G
SD スピードクラスとは SD 機器と SD カードとの転送速度の最低限を保証する	



※SDカードを取り出す際はカードをカチッと音がするまで押し込みカードが少し出たらゆっくりと引き抜いてください。

※ドライブレコーダーの電源が入った状態で、マイクロSDカードを抜くとドライブレコーダーの電源が切れます。ドライブレコーダーの電源が入った状態でマイクロSDカードを挿すとドライブレコーダーの電源が切れます。

※すべてのファイル（動画、写真、音声）がマイクロSDカードに保存されます。

※マイクロSDカードは最大32GBまで対応しています。対応は8～32GBになります。SDカードはCLASS10のドライブレコーダーに適用できる製品を推奨します。

※マイクロSDカードを取り出しは必ず録画を停止してから行ってください。データが消えたり破損したりする可能性があります。

※マイクロSDカードを差し直した場合は反応するまでに数秒ほど時間かかることがあります。

※SDカードの上書きは約500回程度になります、500回を超えると使用は可能ですがSDカードの内部が少しずつ劣化していきます、録画データを定期的に確認し早めにご交換ください。

※長時間の使用によりSDカードが高温になった場合は直接手で触れないでください。火傷の原因となります。

※油がついた手や濡れた手でSDカードを触らないでください。損傷、故障の原因となります。

※マイクロSDカードには相性がございます。万が一認識しなかったり録画がフリーズしたりする場合は別のSDカードをお試しください。

※使用したことがあるSDカードを利用する場合は必ずフォーマットしてからお使いください。認識されない場合はパソコンにてフォーマットを行ってからお試しください。

※フォーマットを行うとSDカードにあるデータが全て消えてしまいますので大切なデータがある場合はパソコンなどへ移してから行ってください。

※SDカードはデータの記録が繰り返されると録画可能時間が減少したりデータの読み込みや書き込みに時間がかかったりします。安定してお使いいただくために1～2週間に一度SDカードのフォーマットを行ってください。

※録画中にエラーが出たり、録画しなかったり、固まったりする場合、新しいカードに変える必要があります。

※ドライブレコーダーが急に使えなくなった場合、SDカードを抜き電源を入れ直し録画以外の機能が正常に作動するかどうかを確認してください。SDカードなしの状態でも正常に作動する場合SDカードに不具合がある可能性があります。

※SDカードは消耗品ですので、長期間ご使用になると不良セクタの多発などにより正常に記録できなくなる場合やSDカードエラーの原因になり使用ができない場合があります。SDカードの消耗による損傷について弊社は一切責任を負いません。

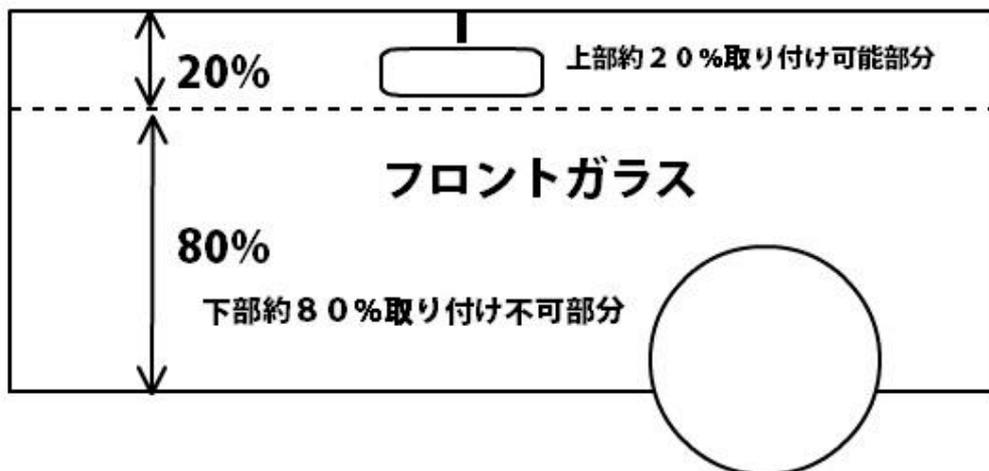
※本機をご使用中にデータが消失した場合でもデータ等の保証について弊社は一切その責任を負いません。

※本製品はマイクロSDカードとの相性による動作の不具合につきましては保証しかねます。

取付け準備・取り付け方

●取り付け位置を確認する

温度湿度の特に高い場所（自動車のダッシュボードや、暖房器具の近くなど）や直射日光が長時間あたる場所 静電気の発生しやすい場所 ホコリの多い場所には置かないでください。内蔵充電電池の液漏れ・破裂・感電・故障の原因となります。



※固定する前に接地面のほこりや汚れを必ず取り除いて下さい。ほこりが少しでも残っていると振動などで外れ本製品の破損や怪我事故の原因になる場合があります。

* 誤った取付けは道路運送車両法の保安基準に違反するおそれがあります。

注意

- 運転時の視界や操作を妨げないでください。
- ルームミラーやエアバッグの動作を妨げないでください。
- フロントガラスの上部20%の範囲内に貼り付けしてください。
- ガラスにプリントされている熱線やアンテナなどにマウントの貼付け面が重ならないようにしてください。
- 安全運転支援システムなどのカメラを装着している場合は、その映像範囲内に映り込まないようにしてください。

(1) シガー電源ケーブルを接続する

付属のシガー電源ケーブルのUSB端子をドライブレコーダー本体上部にあるUSB接続口に差し込んでください。

(2) 本体に両面テープスタンドを装着する

※GPS受信器（別売り）をご利用される場合、両面テープスタンドではなく、GPS吸盤スタンドをご利用ください。

ドライブレコーダー本体の上にある取付部と両面スタンドのスライドレール部の凹凸を合わせ左奥までスライドさせます。

※GPS受信器の吸盤が取れた場合：

- 1、 フロントガラスをきれいに掃除してください。
 - 2、 吸盤も洗剤でキレイに洗い、できたら、吸盤部分をお湯をかけてからフロントガラスに付け直してください。
 - 3、 フロントガラスに取り付ける場合、しっかり押し込み、吸盤中の空気を完全に押し出してからレバーを回してください。
- ※GPS 受信器の吸盤を固定する場合、受信器の根元を回してください。GPS 受信器を挿んで回すと破損することがありますので、ご注意ください。

(3) 取付け位置をきれいにしてフロントガラスに貼りつける

取付け面の汚れ、油分を中性洗剤でよく拭き取り水拭きをした後に乾いた布で拭き取ります。両面テープを剥がし、取り付けてください。

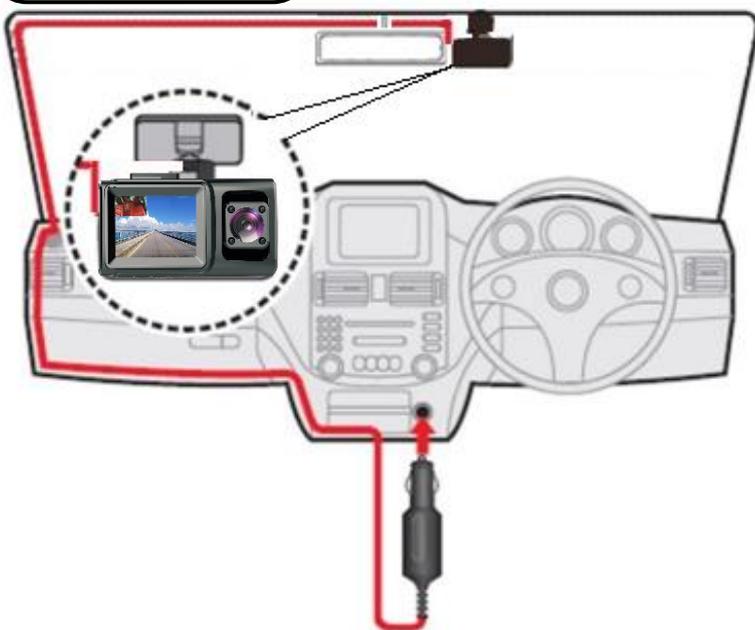
※両面テープスタンドを取り付ける場合、取付てから取付位置の変更などはできかねますので、取付前、一回仮取付して確認できる位置であること確認してから取付てください。

※貼り付ける前によく角度や視野を確認し他の部品に当たらないようご注意ください。

(4) 電源ケーブルを取回す

ドライブレコーダー本体をフロントガラスに取り付けた後に市販のケーブルフックなどを使いシガー電源ケーブルの配線进行处理していきます。

●配線例



※イラストはあくまでも一例です。お客様の車種に合わせて配線してください。

※ドアなどを開閉しケーブルが挟まれないかを確認してください。

※使用上の注意

車のバック時にはモニターに頼らず背後周辺の人物等にも十分に注意をして必ず直視にて後方確認を行ってください。

運転中の事故等の責任は一切負いかねますのでお客様自身で安全運転を心掛けて下さい。

(5) エンジン始動後カメラの角度を調節する

エンジン始動後に画面の映像を見ながらカメラの角度を調節してください。
※お好みに合わせて角度の調節をしてください。

これで取り付けが完了です。

録画・撮影する

●動画撮影モードで撮る

①自動録画

エンジンをかけるとドライブレコーダーの電源が自動で ON になり、録画が開始されます。

録画中に液晶画面の左上側に表示するビデオマークの隣に、【●】が点滅されます。

SD カードの容量がいっぱいになると自動で古いファイルから上書き保存されます。

②手動録画

ドライブレコーダーの OK ボタンを手動で録画を開始/終了することができます。

SD カードの容量がいっぱいになると自動で古いファイルから上書き保存されます。

■衝撃感知録画（Gセンサー、駐車監視）

衝撃検知後 その録画の映像を記録保護します。

衝撃感知で録画された映像は自動で保護され SD カードの容量がいっぱいになっても上書きされません。

SDカード容量不足の原因になります。

■静止画撮影

レコーダー本体の M ボタンを長押しすると静止画モードとなります。

OK ボタンを一回押しすると静止画を 1 枚撮影します。

SD カードの容量が一杯になると静止画撮影はできません。

■常時録画

エンジンをかけてから切るまで連続で録画し続けます。

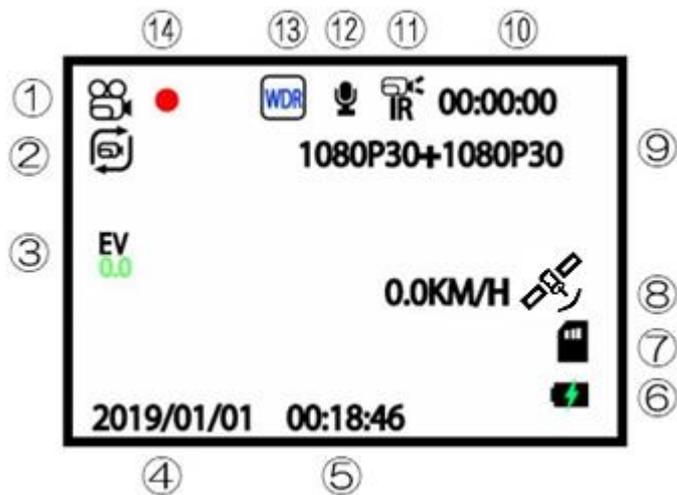
録画時間を設定から 3 分・5 分・10 分と切り替えることができます。

microSD カードの容量が一杯になると自動で古いファイルから上書き保存されます。

③エンジンを切り、電源を OFF にする

エンジンを切り、車の電源が切れるとドライブレコーダーの電源が自動で OFF になります。

●液晶画面表示について



液晶マークについて、表示されるマークは設定されている内容です。設定メニュー項目の先方に記載されているマークが表示されます。全て同じではないですが、設定内容によって異なります。

①、動画撮影：

動画撮影マークになります。静止画の場合、カメラマークに切り替わります。

②、上書き保存

上書き保存を設定した時間が表示されます。3分に設定した場合、このマークに数字の3が表示されます。

③、露出補正

特に設定しなくても使用可能です。特別に設定が必要な場合のみ設定してください。

④録画の日付

⑤録画の時刻

こちらはシステム設定の日/時刻設定にて設定できます。

⑥バッテリーの充電マーク

雷マークがついていって点滅する場合、ちゃんと DC アダプターから給電されていることになります。

⑦マイクロ SD カード

マイクロ SD カードがちゃんと挿入している場合、このマイクロ SD カードが表示されます。

⑧、GPS

GPS 受信器（別売り）をご利用される場合、受信可能です。画像の状態ですと受信中です。受信が完了しましたら、アンテナが表示され速度や軌跡が記録されます。地下駐車場やトンネルなどの所が GPS 受信できないので、液晶画面のような状況に

なります。

⑨前後カメラレンズ録画の画素数

⑩録画のカウント

録画中、こちらの数字がカウントされます。3分の上書き設定の場合、3分までカウントし、01 から再スタートの繰り返しです。

⑪車内カメラの赤外線暗視機能

画像の状態ですと赤外線暗視機能がオンに設定されています。オフに設定した場合、赤い禁止マークが付きます。

⑫録音

画像の状態はオンに設定している状態です。オフに設定すると✖マークが付きます。

⑬WDR 機能

WDR 機能がオンに設定しています。オフに設定した場合、表示されません。

⑭赤いビデオ録画マーク

録画中に赤い円マークが点滅します。録画していない場合、表示されません。

録画・撮影した映像の確認

●ドライブレコーダー本体で確認します

①OK ボタンを押し、録画を停止後、M ボタンを2回長押ししていただき、再生モードに切り替わります。

録画モード⇒静止画モード⇒再生モード

A、ファイルの再生

※動画のファイル名：年__月__時刻__ファイル数 A あるいは B で保存されています。A はフロントカメラ録画のファイルです。

B は車内カメラ録画のファイルです。

動画の場合、ABAB という順番で保存されます。

再生したいファイルをアップボタンあるいはダウンボタンで移動し、OK ボタンで再生してください。

※G センサーあるいは駐車監視が作動してロックが掛かるファイルが保存された場合、液晶画面の右真ん中には鍵マークがついています。

※静止画のファイル名：年__月__時刻__ファイル数

静止画はフロントカメラのみになりますので、A と B という振り分けがございません。

B、ファイルの保護、削除

通常録画：

再生途中の場合、M ボタンを長押ししていただき、再生を完了してから、M ボタンを軽く押ししていただき、消去する、保護を選択できるようになっています。アップボタンあるいはダウンボタンで移動し、OK ボタンで保護あるいは削除をすることが可能です。

再生完了している場合、軽く M ボタンで押すと、消去する、保護をすることができます。

G センサー、駐車監視の録画：

通常録画と同じ操作していただき、一回保護を選択していただき、保護を解除するを選択していただくと保護を解除されます。解除してから通常通り削除できます。全て削除される場合、フォーマットを行っていただければ、データがすべて削除されます。

●PC で録画ファイルの確認

①パソコンにカードを読み込む

撮影したデータをパソコンで見るには、microSD カードを本体から抜きカードリーダー(別売)などでパソコンに読み込ませます。

パソコンのバージョンによって保存される場所が変わりますが、SD (E :) などような表示がされます。

ファイル名 CARDV で保存されます。

- Movie…動画録画保存用フォルダ
- SOS…ロックされたデータの保存フォルダ
- PHOTO…静止画保存用フォルダ

再生するソフトは WINDOWS の正規プレイヤー-WINDOWS MEDIA PLAYER で再生することをお勧めします。

無償ソフト POTPLAYER などダウンロードして再生することも可能です。

WINDOWS 10 などのバージョンのパソコンにて再生する際、スムーズに再生できない場合、WINDOWS 10 で MP4再生できるソフトをダウンロードしてお使いください。

②GPS 再生ソフトのインストール(無償)

GPS 受信器をご利用される場合、速度と走行軌跡を確認するには撮影されたデータを正しくみるためには、ソフトが必要になります。

GPS の速度の表示方法設定 (GPS 受信器 (別売り) を接続されている場合のみ使用可能です。)

GPS を確認するには下記アドレスより GXPLAYER プレイヤーをダウンロードしていただきますようお願い申し上げます。

1、[ヤフージャパン](http://www.sunningsoft.com/en/pcgps.html)を開いて下記アドレスを入力して検索してください。

<http://www.sunningsoft.com/en/pcgps.html>

※対応するのは WINDOWS 7、WINDOWS 8、WINDOWS 10 は対応
WINDOWS xp は対応していません。

※システムサポート net4.5 以上が必要です。

※アクセス許可の問題でインストールはできるだけ C ドライブ以外にしてください。

2、上記アドレスを入力し、検索する下記ソフトが表示され、アクセスしていただくとダウンロード画面に入ります。

[GXPLAYER-sunningsoft](#)

ダウンロードボタンを押し、パソコンの下側に実行、保存、キャンセルが表示され、保存してダウンロードを行ってください。ダウンロードが完了後、実行してインストールを行ってください。

※「Windows によって PC が保護されました」と表示されたら左真中「情報詳細」をクリックし、実行をクリックしてください。

3、インストール画面が表示されますので「NEXT」をクリックします。

4、「NEXT」→「NEXT」をクリックするとインストールが始まります。

5、「Close」をクリックするとインストールは終了します。デスクトップに【GXPlayer】のショートカットアイコンができています。

以上でソフトのインストールは終了です。

6、【GXPlayer】をダブルクリックすると「この不明な発行元からのアプリがデバイスに変更を加えるを許可しますか」を「はい」をクリックします。

7、撮影したデータをパソコンで見するには、microSD カードを本体から抜きカードリーダー(別売)などでパソコンに読み込ませます。アプリのファイルを開いていただき、再生してください。

●よくある質問

1、日付がリセットされます。

- ドライブレコーダー本体がきちんと充電出来ていません。シガー電源がきちんと差し込まれ赤いランプが点灯しているかを確認してください。
- 駐車監視をONにしているためドライブレコーダー本体のバッテリーを消耗しています。

2、製品が稼働しない

- シガー電源の故障やバッテリーの電圧不足あるいはシステムのエラーが原因だと考えられます。
- シガーソケットの接続を差しなおし、本体の裏にあるリセットボタンを短く押しドライブレコーダーを再起動してください。

3、エンジンを切ったときすぐに電源がオフになる。

- シガー電源が故障していないかをチェックしてください。充電器のインジケータランプが点灯しているかどうかを確認してください。故障していない場合は液晶画面をOFFにした状態でシガーの電源で本体の充電を行ってください。

4、エンジンを入れたときすぐに電源がオフになる。あるいは付いたり消えたりします。

- SDカードを抜いていただきSDカードがない状態でドライブレコーダーの電源を入れます。正常に映る場合はSDカードの不良の可能性があります。
- シガーソケット電源が故障していないか確認してください。給電の接続を一度ご確認ください。
- 電源が切れた時、弊社のロゴマークが表示して消えた場合、DCアダプターの接続の問題と考えられます。一度接続見直してください。
- 電源が切れた時、ロゴマークが表示せず、真っ暗になりましたら、スクリーンセーバーの機能でない場合、給電不足の可能性があります。一度接続し直してください。それでも改善しない場合、検品依頼してください。

5、記録した静止画が表示されないあるいは壊れている。動画が再生されないあるいはコマ送りのような状態

- SDカードの読み取り速度が遅い可能性があります。CLASS10のマイクロSDカードをご利用ください。
- マイクロSDカードの不良の可能性があります。マイクロSDカードの通常使用回数が500回です。それ以上使用すると劣化していきます。フォーマットを行い、録画してみてください。同じ症状の場合、マイクロSDカードを交換して確認してみてください。

6、再生時に音が出ない

●本体設定がミュートになっていないかを確認してください。

7、上書き保存を設定しているのに上書き保存されていない

●保護されているファイルがいっぱいになっているため不要な保護ファイルを削除してください。

●マイクロ SD カードの不良です。マイクロ SD カードをフォーマットしてみてデータがきえるかどうかをご確認ください。別のマイクロ SD カードを交換してみてください。

8、SDカードを挿入したのにSDカードを挿入してくださいと表示される

●マイクロSDカードを差し直した場合は反応するまで数秒時間かかることがあります。

30秒ほどをたっても反応しない場合は一度SDカードをフォーマットしてみてください。

●静電気により、認識しない場合があります。一度パソコンでマイクロ SD カードをフォーマットしていただき、再度ドライブレコーダーにて複数回挿し直してみて回復されるかどうかをご確認ください。

9、走行中画面を消したい。

●スクリーンセーバーを設定してください。設定した時間が経過すると自動的に画面が消えます。

●手動で電源ボタンを軽く押すと画面が消えます。

10、本品を使用すると従来使用しているカーナビのテレビ（地デジ）が視聴出来たのにワンセグしか視聴出来なくなってしまいました。（ラジオの電波が悪くなるなど）

●本製品は作動時のノイズの影響により車内の各電子機器が誤作動を起こすことがあります。対処方法として

以下の方法をお試しください。

- ・受信アンテナの向きまたは場所をかえます。
- ・当製品と受信機の距離を離してください。（40センチ以上）距離を離すことで干渉する場所を確定してみます。ドライブレコーダー本体、電源コードあるいはDCアダプターの根元など少しずつ場所を変えて確認してみてください。

※DCアダプターの根元から干渉している場合、別途コード付きのソケットを延長して使用することをお勧めします。

※コードから干渉する場合、ノイズをカットするフェライトコア・電磁波ノイズ防止シートの使用をおすすめします。（当社では販売はしておりません）家電量販店・ネットなどでの購入をお願い致します。1つ付けても解消しない場合、複数個つけることによって解決することがあります。

※本体から干渉する場合、取り付ける位置を変更するか、ドライブレコーダー本体

とアンテナなどの受信器の間に何かを入れることによって解決されることもございます。

尚、対策を講じても確実にノイズを防止できるものではありません。

※車両によっては、同条件でもノイズの影響うけないことがあります。

1 1、SDカード容量不足のような表示が出ました。

フォーマットを行ってください。フォーマットをおこなうことによってSDカードのデータが削除されます。

●下記の設定内容は上書きされないロック付きのファイルとして保存されるので一度見直してください。

A、駐車監視モード

B、Gセンサー

上記設定の感度を調整して確認してください。お使いの車と走る道によってかわりますので、乗られる車に相応しい感度を設定してください。

1 2、エンジンをかけると電源が入りますが、すぐに電源がおちてしまいます。

●SDカードが壊れた可能性があります。一度別のSDカードにてお試してください。

●充電コードの接続がしっかりとされていない可能性があります。

1 3、マイクロSDカードを挿入したら、ドライブレコーダーの電源が落ちました。抜いたら、ドライブレコーダーの電源も落ちました。

●不良ではありません。商品の仕様です。

1 4、Mボタンが効かない、設定メニューが開けない

●録画中にはドライブレコーダーのメニューが開けません。OKボタンを一度押し、録画を止めてから設定を行ってください。

1 5、トンネルや高架下など明暗の変化があるところを通る時、本体からガチガチという音してうるさい。

●システム設定の中IRLEDをオンに設定しているためです。明暗のある場所を通ると車内カメラの暗視機能の赤外線の切り替えを行い、ガチガチという音がします。取扱説明書P15を参考し、オフに設定していただき、車内カメラの映りを確認してみてください。

メモ：

●製品の主な仕様

車外カメラ	200万画素
車内カメラ	200万画素
レンズ角度	140度
動画ファイル形式	MP4
音声記録	有り (ON・OFF 選択可能)
静止画ファイル形式	JPEG
画面サイズ	2インチ
記録媒体	マイクロSDカード 8GB~32GB(Class10)
ファイル圧縮	H.264
バッテリー	200mAh リチウムポリマー
外部電源	ミニUSB、DC5V
動作温度	-10~+60℃
本体サイズ	約92×55×45mm(ブラケット部分を除く)
本体重さ	約73g

●メモリーカード録画目安

録画時間はおよその目安です。

お使いのマイクロSDカード、撮影環境や被写体などの条件、他のデータが保存されている場合により枚数・時間は変動します・ マイクロSDカード Class10 FHD動画 前後同時録画の場合

カードサイズ	8GB	16GB	32GB
録画可能時間：	45分	90分	180分

保証書

このたびは、本製品をお買い上げ頂きまして誠にありがとうございます。保証規約をよくお読みください。

保証期間:お買い上げ日より6ヶ月

商品名：FHD車外車内同時録画高画質ドライブレコーダー取扱説明書 car-063x

お客様情報：

氏名： 連絡先：

住所：

ご購入日： 年 月 日

販売店情報：

店名： ⑩

住所：

連絡先：

押印のない場合は、購入日のわかるものをご提示ください。

<保証規約>

この製品はお買い上げから半年以内に不具合が発見された場合は修理対応致します。損傷が保証範囲を超えていると判断した場合は修理の際に費用を請求することがあります。修理範囲は以下の通りです。

- すべての修理は当社で行います。機械を分解しないでください。
- 事故による破損が認められる。
- 保証の範囲内であれば、修理は無料で行います。
 - ・保証による対応は、該当商品の修理、および交換にかかる費用になります。
 - ・初期不良等があった場合は商品到着後 1 週間以内に当社宛あるいは販売店にご連絡をお願いいたします。
 - ・初期不良期間を経過しているものに関しましては、往復送料はお客様負担となりますのでご了承ください。
- 送り状あるいはお買い上げ明細書などご購入日がわかる書類を大切に保管してください。
- 保証期間内に人為的でない破損があった場合は、無料で修理致します。
- 保証期間が過ぎた場合は、修理費用がかかります。
- 販売店に事前連絡なく商品を返送する、返送途中で商品が紛失、故障した場合は、保証対象外となります。
- 保証の除外事項
 - 1、本製品の説明書に記載されている使用方法及び取扱方法、注意事項に反した使用方法
 - 2、お買い上げ後、運送、落下、損傷などによる不適切な取り扱い。
 - 3、お買い上げ後のお客様による分解、修理、改造。
 - 4、天災（水災、水害含む）など不測の天変地異などの結果生じた事故、損害。
 - 5、消耗品の修理、交換費用。
 - 6、本保証書およびご購入証明書類のご呈示がない場合。
- 本製品の使用および不具合の発生によって、二次的発生した損害、損失などにつきまして、弊社では一切責任を負いません。
- 本製品に装着することにより他の製品、機器に生じた事故。損傷について、弊社では本製品以外について修理費用などは一切保障いたしません。
- お客様及び第三者の故意また過失と認められる本製品の故障・不具合の発生につきましては、弊社では一切責任を負いません。
- 本保証書は日本国内においてのみ有効です。